

52 ホウロクシギ

(チドリ目)

Numenius madagascariensis

兵庫県ランク:B

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:VU(絶滅危惧Ⅱ類)

種の概要

日本では旅鳥。兵庫県では主に3-6月と9-10月に見られる。海岸の砂浜や干潟、河口に生息するが水田、草地などでも見られることがある。大型のカニ類を好むが、甲殻類、ゴカイ類も採食する。



写真提供:但馬野鳥の会

国内分布

北海道、南千島、本州、佐渡、隠岐、見島、四国、九州、対馬、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、西宮市、(伊丹市)、豊岡市、加古川市、(赤穂市)、高砂市、南あわじ市、淡路市、たつの市



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性(特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

かつては県南部に単独か数羽の群れが定期的に渡来していた。近年は分布域が限られてきており、阪神地域や播磨西部地域で少数が記録される程度となっている。県北部でも、少ないが記録されている。



写真提供:三木敏史

保護上の留意点

現在もわずかに残されている干潟や河口などの自然環境の保全に加えて、積極的な再生のための環境整備が重要。



写真提供:三木敏史